



表紙の  
絵から

大きな満月の夜に、月見だんごを用意しているちゅうくん。うさぎさんたちも遊びに来て、楽しいお月見のはじまりです。「満月を見たことはある?」「ほかにはどんな形の月があるかな?」などと声をかけて、月の観察やお月見に話題を広げてみてください。



じしんの ときは…

ねらい 地震が起きたときの行動を身につけましょう。

「地震が起きたとき、ちゅうくんたちはどうしているかな?」「遊んでいたおもちゃはどうしたかな?」「どこに集まればいいのか?」などと問いかけて、子どもたちが考えられるようにします。非常時の約束ごとをみんなでいっしょに確認していきます。



「ちゅうくんたちが、だんごむしのポーズをしているね」と、地震が起きたときの行動に注目しましょう。頭を守ることのたいせつさを伝え、だんごむしのポーズを実際に行ったり、ひとりで防災頭巾をかぶる練習をしたりするのもよいですね。



ひこうき ビューン!



ねらい 飛行機に親しみを持ち、空を飛ばまねをして遊びましょう。

つかい方のポイント 「飛行機はどんな形かな?」「歩いている人と比べると、とても大きいね」などと話しながら写真を見てみましょう。また「飛行機はどうやって飛んでいるのかな?」と尋ねて、全身で飛ばまねをしていてもよいですね。



うさぎたちの おつきみ



ねらい 月の形の変化を楽しみ、お月見に関心を持ちましょう。

つかい方のポイント うさぎたちの想像を参考にして、「お月様の形、何に見えるかな?」と考えながら、ページをめくってみましょう。月の形は毎日変化していくことを話すと、月の満ち欠けに興味をもつきっかけになりそうです。



「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください!



絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「じしんのときは…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練に参加する。</li> <li>頭を守るポーズを知る。</li> <li>防災頭巾を自分でかぶる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練のたいせつさを話し、地震が起きたときの約束ごとを確認する。</li> <li>保育者が日常とは違った声の大きさや表情などで真剣な姿を見せ、非常時だとわかるようにする。</li> <li>なぜ頭を守るポーズをしたり、防災頭巾をかぶったりするのかを伝えて、いっしょに練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康</li> <li>言葉</li> <li>人間関係</li> </ul>
<p>「うさぎたちのおつきみ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の形が変わることを知る。</li> <li>十五夜ということばを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の形が変化していくことを伝え、子どもたちが月に対して興味をもてるようにする。</li> <li>お月様の話をきっかけに、絵本や写真などをつかい、十五夜がどんな日なのか子どもにわかりやすいように伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境</li> <li>表現</li> <li>言葉</li> </ul>